

第 210 回 暮らしの SDGs 学習会 議事録

1. 出席者 (敬称略) 増永、吉永、横田、難波、大塚、小川、前崎、黒島、古山、筒井 (記)
2. 日 時 2025 年 5 月 9 日 (金) 13:30 ~ 15:00
3. 場 所 生涯学習センター 3 階 大会議室
4. テーマ 持続可能な社会に向けて
『世界がもし 100 人の村だったら：ダグラス・スミス著』について
5. 講 師 横田輝雄氏 (温暖化防止なぐれやま 副代表、温暖化防止活動推進員)
6. 内 容 最初に、『世界がもし 100 人の村だったら：ダグラス・スミス著』は、SDGs が国連で採択される随分前に書かれた本ですが、世界の人々を 100 人の村に例えて、貧富の差や、人々が生活する環境等の差について分かり易く表現し、世界の人々が平和に、かつ平等に生活できるようにすべきと説いていると説明がありました。

<以下がその後の説明概要>

- * 日本の森林率は 67% で、世界で 2 番目、海に囲まれて自然に恵まれています。
- * 日本の就学率は世界の中で非常に高く、質の高い教育を受けています。
- * しかし、日本の労働時間は世界一長く、農業、漁業、林業に従事する人の割合は、非常に低いです。
- * 世界の人口は約 78 億人、100 人の村に例えると以下のような状況になります。
女性 52 人 男性 48 人、有色人 70 人 白人 30 人、アジア人 61 人 その他 39 人
キリスト教信者 33 人 イスラム教信者 19 人、以下様々な宗教があります。
都市に住む人は 53 人 農村に住む人は 43 人、
米を主食にする人が 50 人 麦が 26 人ですが、100 人のうち 20 人は飢えていますし、33 人はビタミンやミネラル不足です。一方で、15 人の人は太り過ぎです。
水や排水について考えると、料理に使う綺麗な水がない人が 16 人、飲める水がない人が 17 人、台所の排水がない人が 40 人です。また、炊事をするのに、61 人はガス・電気・灯油を使い、37 人は薪を使います。
すべての富のうち 6 人が 59%、74 人が 39%、20 人が残りのわずか 2% を分け合って持っています。エネルギーも、20 人が 80%、80 人が 20% を使っています。
以上のように世界の人々は不平等な環境にいます。誰もが平等な環境で生きていけるようにするべきと本は語っています。
- * その後、『さがしてみよう暮らしの中の SDGs 』ということで、家でできること、外出先でできること、買い物でできること等の説明があり、私たちが如何に恵まれているかを考え、自分に何ができるかを考え行動しようとの話がありました。

<次回予定>

- 日 時 : 2025 年 6 月 13 日 (金) 13:30 ~ 15:00
- 場 所 : 生涯学習センター 3F 大会議室
- 内 容 : 『ふるまぎ里山ミュージアムを実現する会』の活動について
- 講 師 : ふるまぎ里山ミュージアムを実現する会 共同代表 檜 聡 様